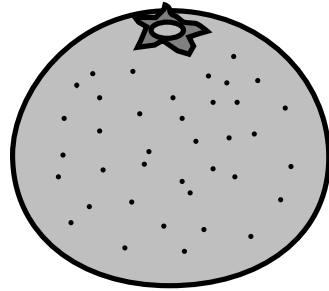


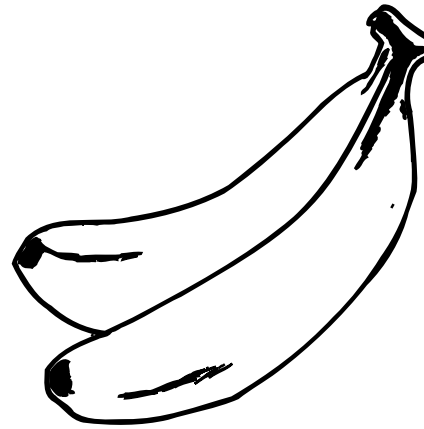
2 - 1 - 1

(月 日)

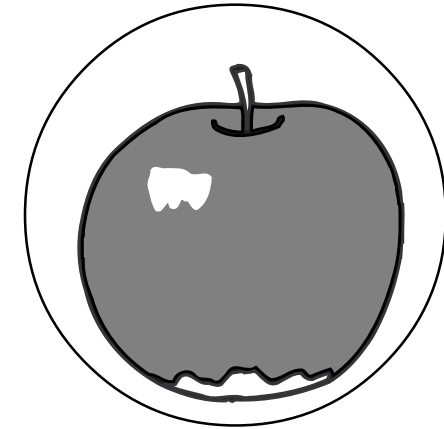
<問題> (1) 「りんご」はどれですか。指さしましょう。(「バナナ」「みかん」「ぶどう」「もも」も同様に)
(2) 一つずつ名前を言いましょう。



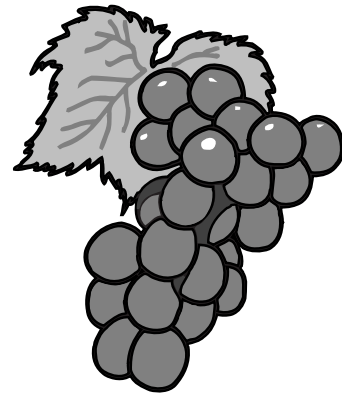
みかん



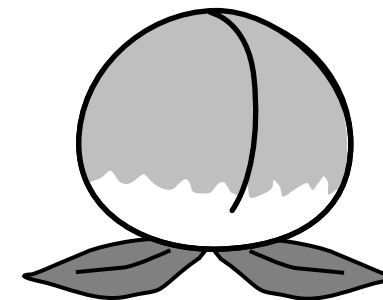
バナナ



りんご



ぶどう



もも

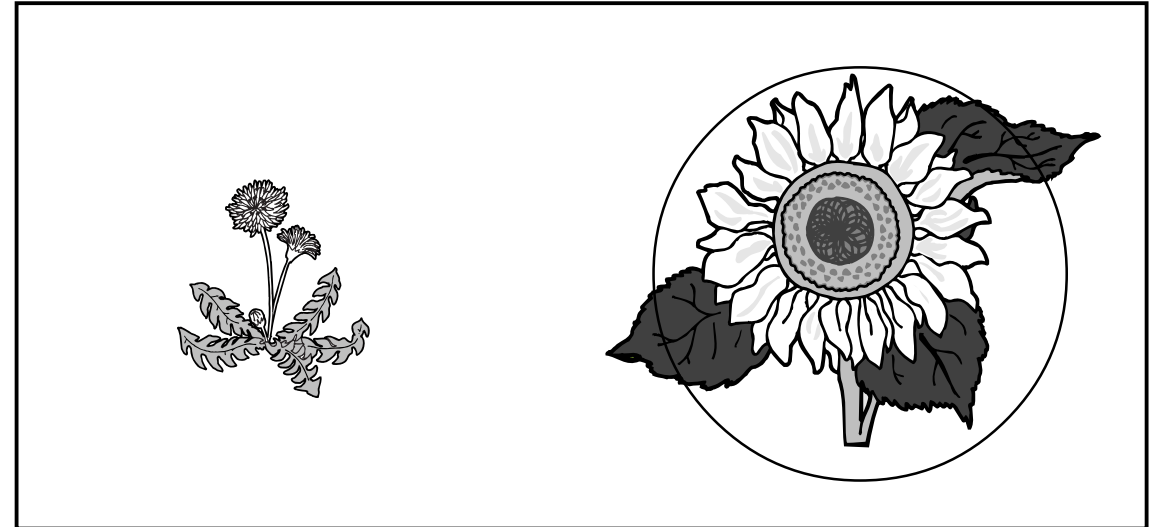
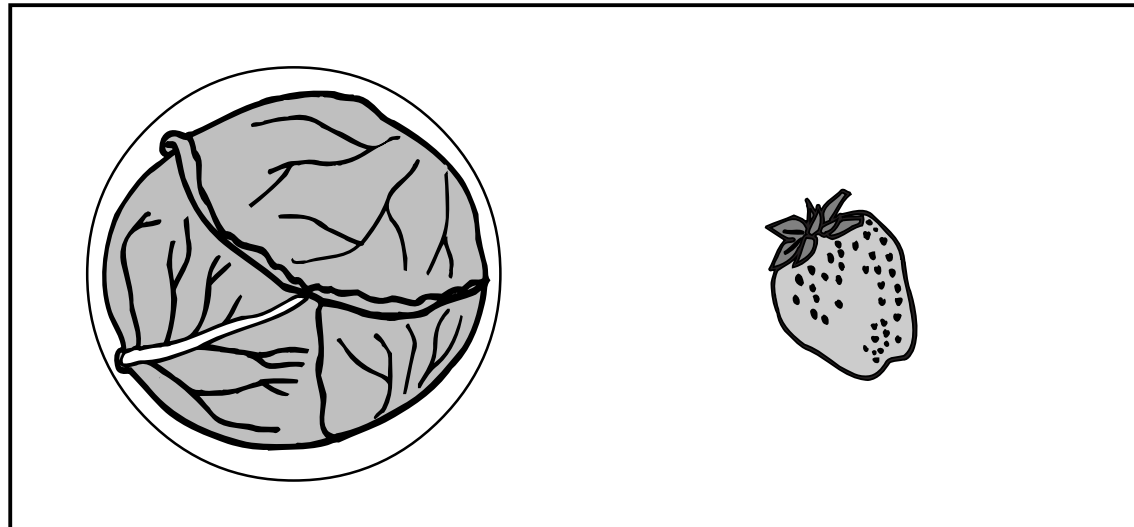
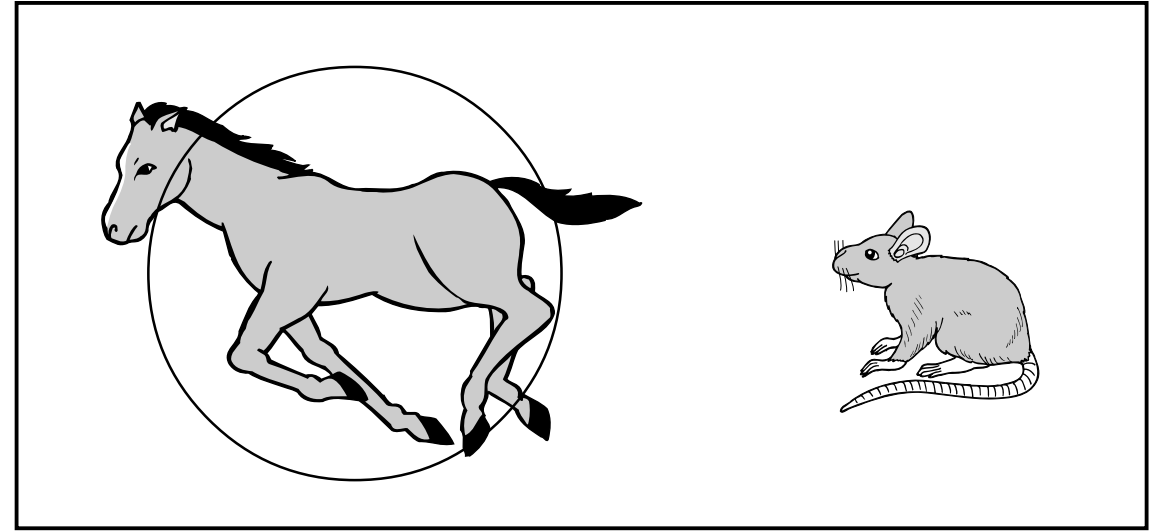
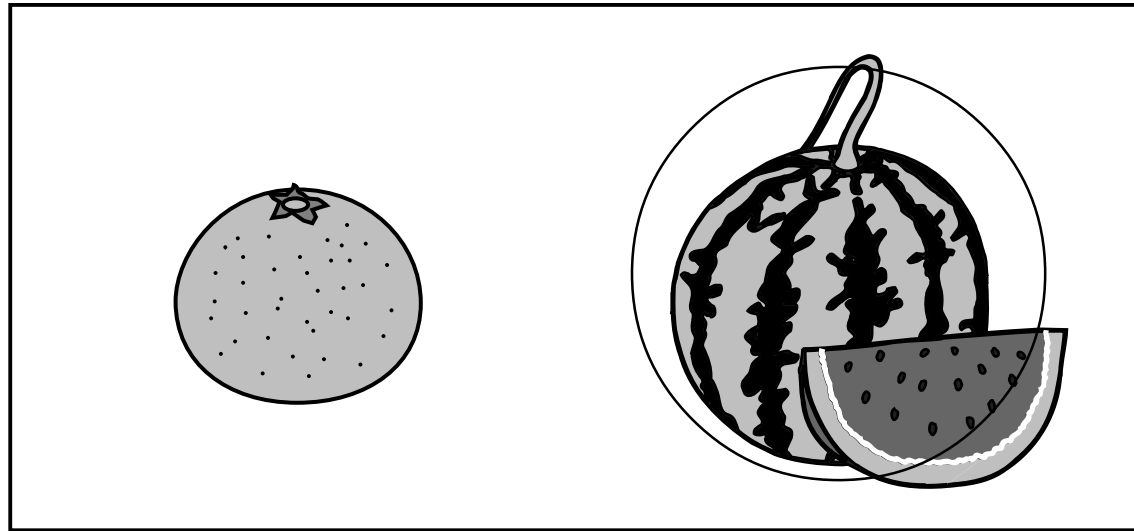
<指導のポイント>

くだもの名前を学習します。最初は、指でさし示して答える練習から始めます。(2)は、先に名前を言ってあげて、その後お子さんにくり返し言わせてもよいでしょう。(「みかん」(みかん)「バナナ」(バナナ)...) また、くだものを食べる時には、切る前に実物をよく見せてあげるとよいでしょう。日頃から、絵本や図鑑などをいっしょにみる機会をもって、語彙をふやしていくようにしてあげてください。

2 - 1 - 2

(月 日)

<問題> どちらが大きいですか。指さしましょう。



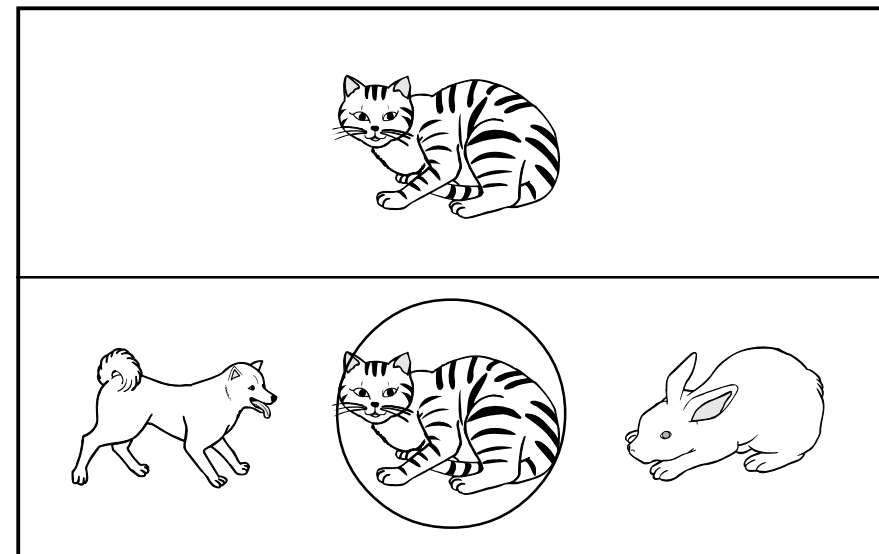
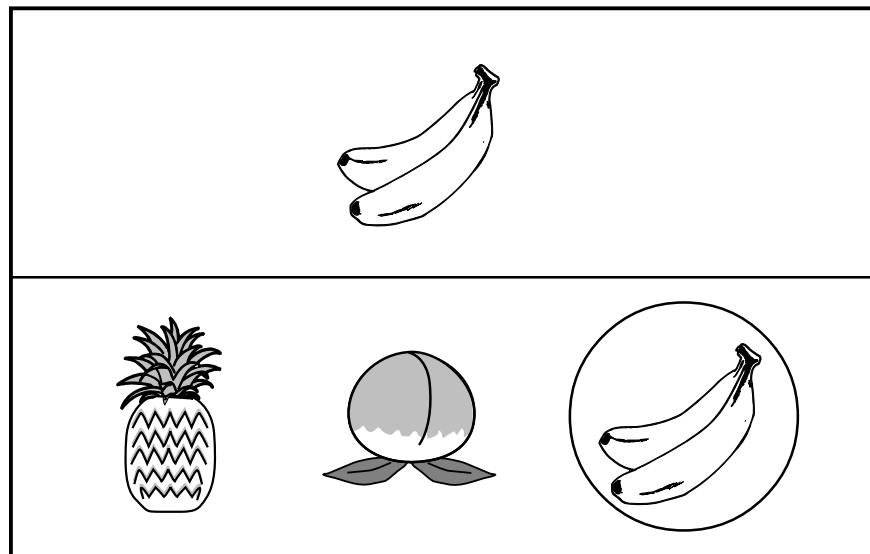
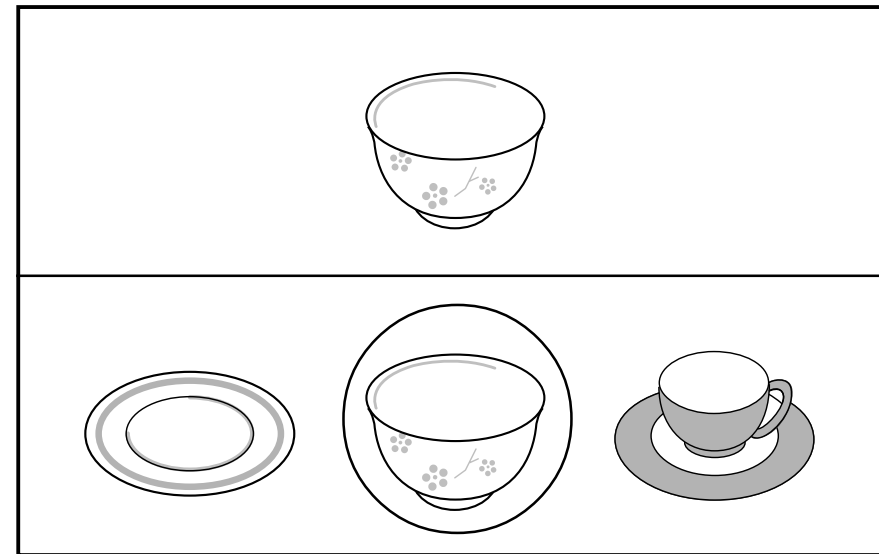
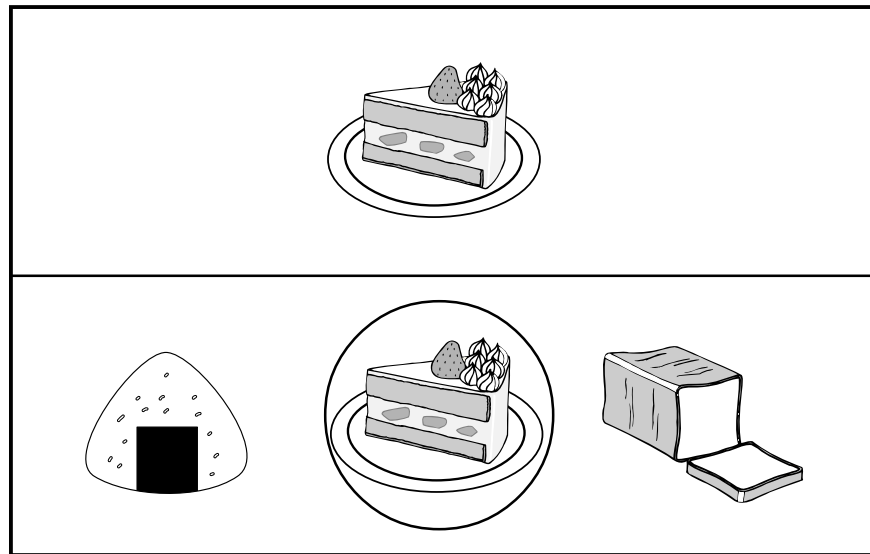
<指導のポイント>

「かず・りょう」の学習はまず、身近なもので大きさを比べることから始めます。2つの絵を指さしながら、「みかんとすいかとでは、どちらが大きいかな。」というように、お子さんに質問してあげてください。

2 - 1 - 3

(月 日)

<問題> 上と同じ絵はどれですか。指さしましょう。



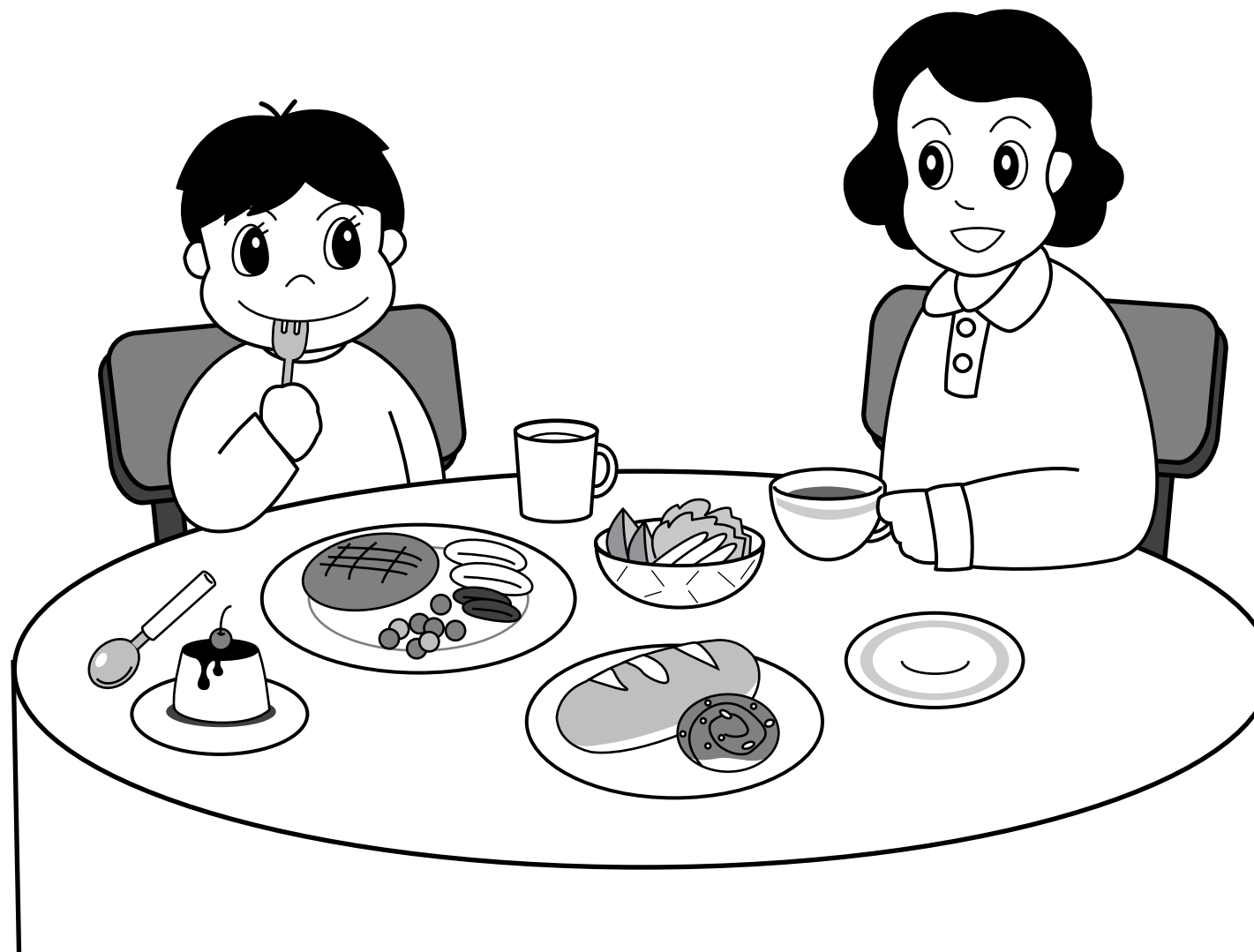
<指導のポイント>

問題の意味がよくわかるように、上の段の絵を指さしながら質問してあげましょう。それぞれ何の絵か、名前も教えてあげてください。ゲームのように楽しく学習をすすめましょう。

2 - 1 - 4

(月 日)

- <問題> (1)何をしているところですか。絵を見てお話ししましょう。
(2)あなたはすききらいをしないで、何でも食べていますか。



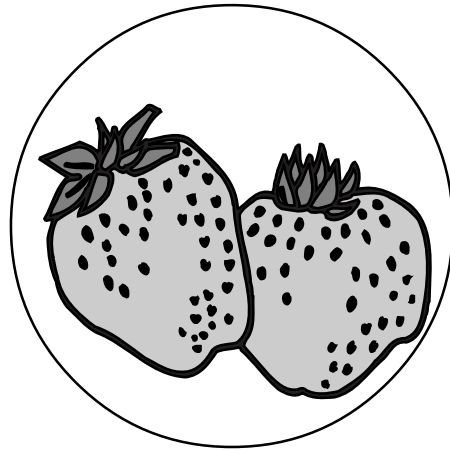
<指導のポイント>

食事の場面の絵を見て、「何を食べているのかな」「何を使ってたべているのかな」などを質問しながら、お子さんにいろいろ話をさせてみましょう。ふだんから、自分でスプーンやフォーク(できればおはしも)を使ってこぼさずに食べること、すききらいをせず何でも食べることの二つがきちんとできるように、意識づけしていきましょう。

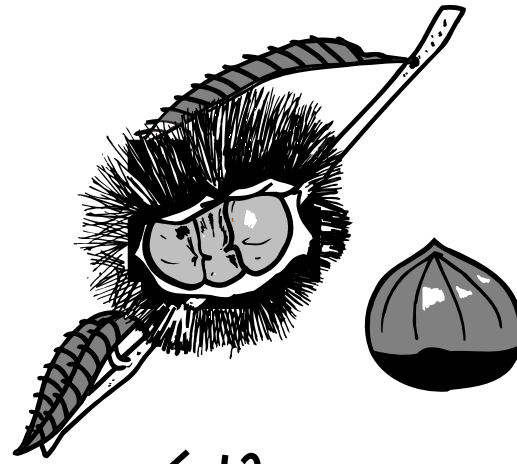
2 - 1 - 5

(月 日)

<問題> (1) 「いちご」はどれですか。指さしましょう。(「すいか」「くり」「かき」「なし」も同様に)
(2) 一つずつ名前を言いましょう。



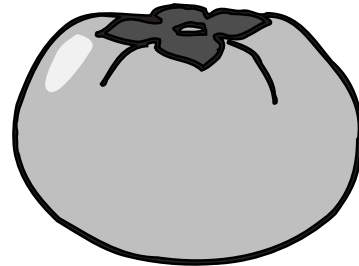
いちご



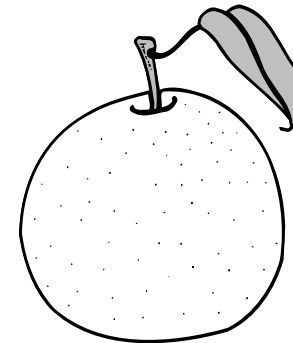
くり



すいか



かき



なし

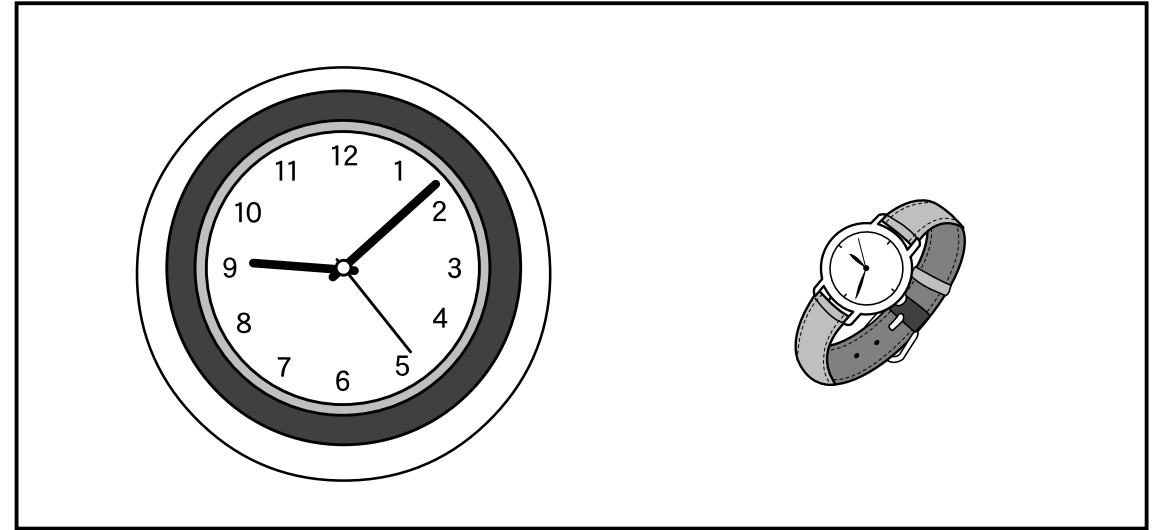
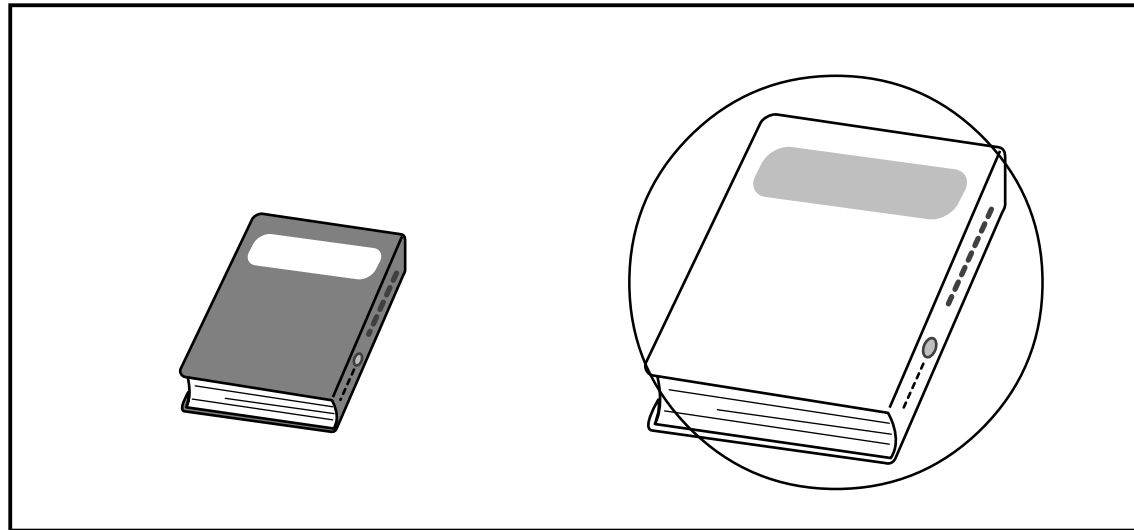
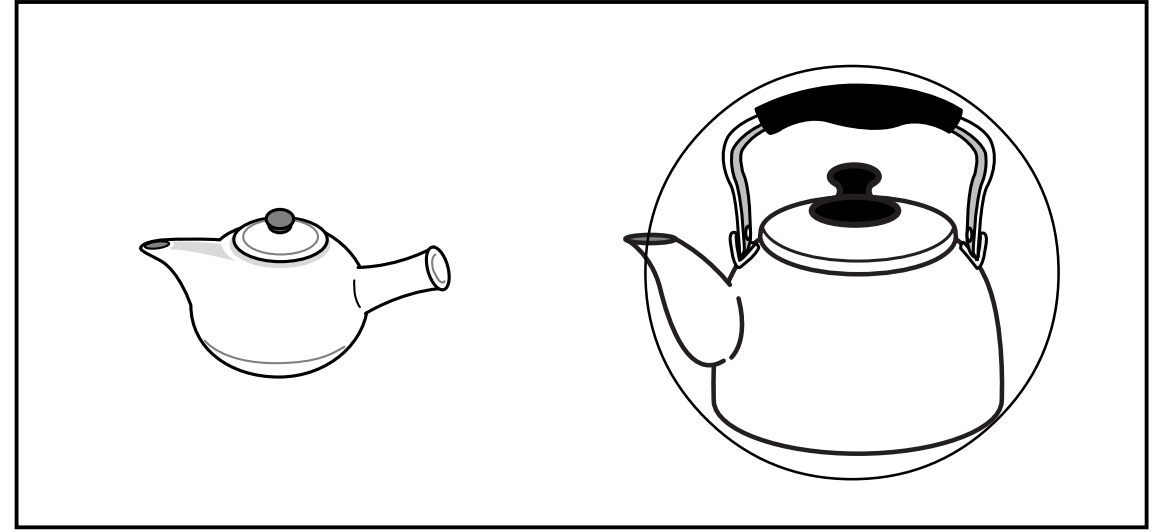
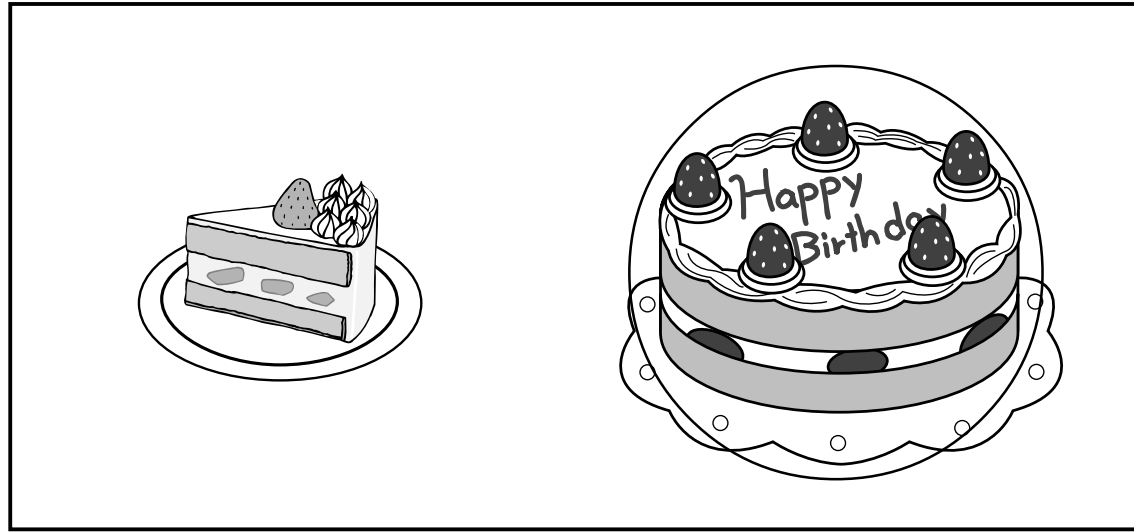
<指導のポイント>

くだもの名前を学習します。(2)は、先に名前を言ってあげて、その後お子さんにくり返し言わせてもよいでしょう。(「いちご」(いちご)「くり」(くり)...) 「くり」などをあまり見たことがないようでしたら、絵本や図鑑をいっしょに見てあげてください。くりには、外側にチクチクする「いが」がついていることを教えてあげましょう。

2 - 1 - 6

(月 日)

<問題> どちらが大きいですか。指さしましょう。



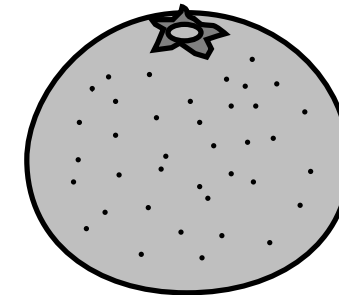
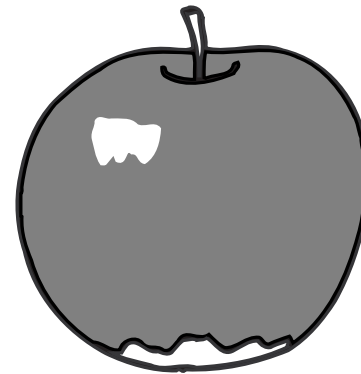
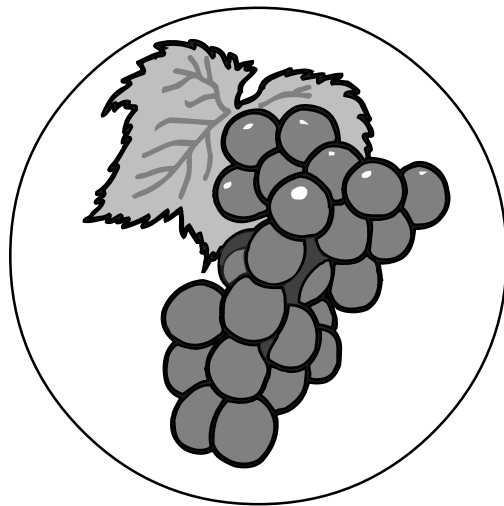
<指導のポイント>

2つの絵を指さしながら、「左のケーキと右のケーキとではどちらが大きいかね。」というように、お子さんに質問してあげてください。お子さんが答えた後、「左のケーキは小さい。右のケーキは大きいね。」というように言葉でくり返しておいてあげましょう。身近にあるいろいろなもので、大きさ比べをして遊びましょう。

2 - 1 - 7

(月 日)

- <問題> (1)(プリントはふせておきます)
(2)「今から言うことばをよく聞いて、覚えましょう。」(集中して聞けるように目を閉じさせましょう。)
(3)(プリントを表向けてあげて下さい)「今聞いたものは、どれですか。指さしましょう。」



ぶどう

<指導のポイント>

ここでは、ことばをしっかり聞きとって記憶する練習をします。「ことば」のページで学習したくだもの名前の復習もかねています。「ものあてゲーム」のつもりで、楽しいふんい気でやるとよいでしょう。お子さんがうまく答えられたら、多少おおげさに「えらいね」とほめてあげて下さい。